

# 令和4年度第2回大府市特別職報酬等審議会要点記録

令和5年1月18日(水)

16:00~16:23

場 所 市役所 庁議室

## 出席委員

農業団体代表	栗山 美親 (会長、議事進行)
商工団体代表	花井 由美子
青年代表	中村 卓也 (会長職務代理者)
女性代表	倉元 須麻子

## 欠席委員

労働者代表	日比野 充
有識者	坂口 美穂

## 事務局

企画政策部長	新美 光良
秘書人事課長	長江 敏文
秘書人事課人事係長	齋藤 裕士

## 会議次第

- 1 市議会議員の議員報酬並びに市長、副市長及び教育長の給料の額及び退職手当の支給水準について
- 2 その他

会 長： それでは、これまでの議論を踏まえた答申書案について、委員の皆さんにご協議いただいてから、市長に答申したいと考えております。

次第の1について、事務局から資料の説明及び答申書案の朗読をお願いします。

課 長： （答申書案朗読）

会 長： ただ今、事務局から説明がありました。

答申書案について、何かご意見がある方はご発言をお願いします。

B 委員： 内容について異議はありません。

A 委員： 前回検討した内容が反映されており、異議はありません。

C 委員： 異議はありません。

会 長： 世間の状況はありますが、大府市は独自の取組等で、全国から見ても住みやすいまちづくりができています。周りの自治体が据え置くからと、据え置きと判断しなくともよいのではないかと。報酬は税金が基であるが、人口の動向などを見ても他市の状況に左右されなくてもよいのではないかと。

部 長： 民間企業であれば収益の高い企業は給料が高い。本市も財政状況がよいので給料を上げれば優秀な人材の確保にもつながる。しかし、地方公務員法において公務員の給料は、均衡の原則が規定されており、民間企業や他の自治体との均衡を保つよう示されている。民間企業の給料の状況は国が毎年調査をし、公務員の給料との差と給料の上げ下げの方針を示しており、本市も参考としている。本市は、財政力も豊だが、給料とは別で、職員は自分たちの頑張りによって現在の市の状況が実現できていると、やりがいを感じて仕事をしている。

会 長： コロナの状況を見ても、大府市は感染者が多いと発表されているが、医療機関が整っているから、近隣よりも多い結果となっている。これも市の力だと思う。

部 長： ご意見はありがたいが、給料は、規律を持って決める必要がある。

B 委員： 他の市町村との均衡を保たなければならないとの話があったが、県内市の中で本市の特別職等の報酬は中位であるので妥当ではないかと考える。

会 長： 職員の給料の状況はどうか。

部 長： ラスパイレス指数というものがあり、国家公務員の給料を100とした時に、その市の職員の給料はどの程度であるかという値がある。本市は、国から地域手当6%と指定を受けているが、実際は10%いただいており、それを含めた令和4年の値は100.2と国家公務員よりも0.2高い。

会 長： その数値は、何が基で決まるのか。財政力などで決まるものか。

部 長： 職員の初任給は自治体によって大きな差はない。年齢構成で早く昇進できる自治体やそうでない自治体、特別昇給の状況などで差が出てくる。組合交渉などがある自治体もあるのでそういったことも影響している。

A 委員： 今回は据え置きが妥当だと思うが、来年度引き上げる見込みはあるか。

部 長： 来年度の経済状況等を基に、来年度の審議会でご協議いただく。

- A 委員： 社会的には賃上げの動きがある。近いうちにはと考える。
- 部長： 国家公務員の動きは、若年層が引き上げの対象となっているため、特別職等の現在の年齢から考えると難しいと考える。
- C 委員： 社会状況を見ると、コロナや海外の情勢で物価が上がっている。給料を上げたい気持ちはあるが、物価が上がっているため材料費なども上がっている。企業努力だけでは、従業員の賃上げを行うのは厳しい状況であるため、特別職等については据え置きが妥当であると考え。
- 民間との格差、社会情勢などを見て、社会全体が賃上げになればと考える。
- 課長： (配付資料の説明)
- 会長： ただ今、事務局から資料について説明がありました。
- 他にご意見はありませんか。
- 一通り、皆さんからご意見をいただきましたので、答申書案について、確認をさせていただきます。
- 答申書案について、案のとおりでご異議ございませんか。
- 委員： 異議なし。
- 会長： それでは、異議もないようですので、これで審議を終了し、市長に答申したいと思います。
- 部長： 2回にわたり審議会でのご議論をありがとうございました。
- 皆様の任期は令和6年3月末までとなっておりますので、来年度も引き続きご協力いただきますようお願いいたします。

#### 答申 (答申のため市長入室)

- 会長： 答申
- 市長： 昨年11月の第1回以来、大変お忙しい中、市議会議員の報酬等につきまして、慎重にご審議いただきありがとうございました。現在の社会情勢、経済状況、市民感情等を考慮しますと、当然、引上げるという状況ではないと認識しております。引き続き、コロナ対策、物価高対策について、しっかりと対応していきたいと思っております。答申の趣旨を踏まえまして、これからもしっかりと努めてまいりたいと思っております。
- なお、委員の皆さんにおかれましては、任期がもう1年ございます。市議会選挙が控えておりますので、来年度は新しい市議会議員のもと、審議をしていただきたいと思います。ありがとうございました。

上記のとおり、要点記録を確認した。

令和5年1月18日

会長 栗山美親